

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	045 -	事業名	成人式事業		担当部課	くらし文化部生涯学習課			
基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ 文化をみがき、人が輝くまち			会計区分	一般会計			
	まちづくり行程表・フラッグ	—			予算区分(款 - 項 - 目)				
	第6次総合計画・基本目標	—			9-4-1 社会教育総務費				
	法定受託事務の有無	—							
	その他(関係計画、要綱等)	—							
事業開始の背景、経緯等	昭和57年度以前～								
事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 新成人を主体とした実行委員会が、式典などの準備から運営までを企画し、成人の日に文化の家森のホールで成人式の式典を挙げる。式典後に、成人式の参加者を対象として茶話会(アトラクション)を開催する。							
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内在住の新成人							
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 成人したことを自覚し、主体的に企画・運営を行う。							
	事業を構成する事務事業(B票)	① 成人式事業	改善・見直し	④					
	②			⑤					
	③			⑥					
コスト推移	項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)	
	事業費(A)	千円	予算	1,251	1,258	1,264	1,247	1,650	
			決算	1,089	841	673	911		
	人件費(B)	千円	決算	1,452	1,222	2,980	3,989		
総コスト(A)+(B)	千円	決算	2,541	2,063	3,653	4,900			
成果推移	成果指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)	
	A 成人式参加率	%	目標	70	70	70	70	70	
			実績	66.1	66.1	61.3	66.5		
	B		目標						
			実績						
	C		目標						
実績									
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)									
A 成人式参加率70%を目指す。									
B									
C									
環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化 (他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 尾張旭市他、愛知県内27の市町村で実行委員会形式で実施。 瀬戸市では、小学校単位に分かれて開催し、地元住民が運営している。 2022年民法の一部改正により、成人年齢が引き下げられ、18歳となる。								
評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 成人式参加率は平成29年度61.3%から平成30年度66.5%にまで増加したが、目標値は達成できなかった。							
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 成人式参加率は、様々なPRに取り組んでいるが、横ばいの状況である。また、H30年度から別会場に家族席を設けた。							
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 公募の実行委員の応募者が少ない。							
今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 引き続き、新成人による手作りの成人式を開催する。							
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 地域の人や家族が新成人を祝い励ます式とする。 2022年民法の一部改正により成人年齢が18歳となるが、引き続き、式の対象は20歳とし、市民に分かりやすい式の名称等を検討する。							

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・引き続き実行委員会形式で実施するなかで、職員の負担軽減を図ってください。
------	-------------------------	---------------------------------------

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	成人式事業		担当部課	くらし文化部生涯学習課	決算書ページ	—
事務事業名	①	成人式事業	予算区分	9-4-1 社会教育総務費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	昭和57年度（1982年度）以前	終了（予定）年度	—		

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内在住の新成人に対し、新成人による実行委員会の企画・運営により、成人の日に文化の家森のホールで成人式の式典を開催。式典後に、成人式の参加者を対象として茶話会（アトラクション等）を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 成人したことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます。二十歳の青年らが主体的に企画・運営を行い、式への参加を呼びかけることで参加率を向上させる。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算	1,251	1,258	1,264	1,247	1,650
		決算	1,089	841	673	911	
<備考：事業費の主な内訳（30年度(2018)）>							
(1) 会場設営委託						396	千円
(2) 消耗品費						341	千円
(3) 食糧費						91	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
成人式実行委員の開催数	回	見込	3	3	3	3	3
		実績	3	3	3	3	
式典参加者数	人	見込	431	459	467	459	437
		実績	408	434	410	470	
<備考：活動の概要（30年度(2018)）>							
<ul style="list-style-type: none"> 当日の流れの把握や役割分担を実施した。 茶話会等アトラクションの企画の決定と作業を行った。 前年度の実行委員へ参加を呼びかけ、改善すべき点のアドバイスを受けた。（見込：H32年成人式対象者625人×70%） 							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

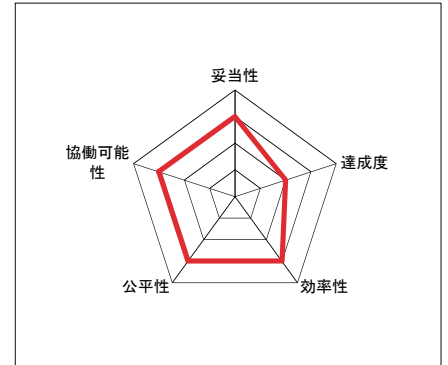
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
式典中、別会場に家族席を設け、中継して式典の映像を放映した。

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況		
(前年度【予算額】)	(今年度【予算額】)	(増減額)
1,247 千円	1,650 千円	403 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》		
・前年度【今後の方向性】	改善・見直し	
・前年度【コメント】	<ul style="list-style-type: none"> パネル作成等に時間がかかるため、第1回実行委員会の時期を早め、早い時期から自主的な活動ができるよう促す。 実行委員と話し合いながら、会場内の家族の観覧席をなくし、別会場を家族用とする。 	
(3) 改善状況		
(何をどのような状態に改善したのか)		
実行委員会協議した結果、会場内の家族の観覧席をなくし、別会場を家族席とし、中継して式典の映像を放映した。		

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数（人）				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込	10	10	10	10
実績	11	10	3,989	

(2) 協働の状況（30年度(2018)）
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など) 式典は、実行委員が役割分担して、運営を担った。実行委員主体のアトラクションとして実行委員手作りのパネル前で撮影する『クラス写真撮影』など新成人や実行委員にとって思い出に残るものとなった。

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
実行委員会で協議した結果、会場内の家族の観覧席をなくし、別会場を家族席とし、中継して式典の映像を放映した。

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
第1回実行委員会が9月に開催されたため、パネル等の作成の時間が足りないとの意見があったため、時期を早める必要がある。

7. 今後の方向性

改善・見直し